

プレスリリース

ソリッド・ウィンド・パワー社、日本の風力発電市場に進出

2017年7月7日、デンマーク、スキャン市発：デンマークにて急成長中のテクノロジー企業であるソリッド・ウィンド・パワー社は、クラスNK認証を獲得したことにより、同社の風力発電機製品を日本に設置することが可能となりました。

日本海事協会から発行される小型風力発電機の認定証明書（クラスNKと呼ばれる）により、ソリッド・ウィンド社製19.8kWタービンは日本の固定価格買取制度（FIT）の対象と認められ、発電1キロワット時につき55円がタービンの所有者に支払われる。このFIT制度は、日本の太陽光発電施設の好況に拍車をかけるのを助けました。小型風力タービンのためのFIT認定制度は、小型風力発電市場にも同じ影響を及ぼします。

「弊社の19.8kWタービンは、デンマークおよびヨーロッパ市場で19.8kWから25kWの範囲でベストセラーとなっている弊社製品をさらに先進のデザインに進化させたものです。この製品が今、日本でクラスNK認証されたことについて我々は誇りに思っています。」と、ソリッド・グループのCEOかつオーナーである、カーステン・ラウリッドセンは説明しました。「弊社は500台以上のタービンをデンマーク国内に設置しました。そして今、日本のFIT制度を活用して日本での事業を拡大することに、我々は興奮しています。我々は、予想される日本市場の成長を確保するための良い位置に置かれています。実際、我々の日本の代理店パートナーは既に劇的な注文の増加を見ており、日本へ向けて大量の台数を出荷し始めると思っています。」

ソリッド・ウィンド・パワー社の19.8kWタービンには、ユニークなデザインと特徴があります：高性能ブレード、効率的な発電機、低騒音ギアボックス、耐震ダンパー、高度なヨー制御システム、マルチ・ブレイキ・システム、遠隔SCADAシステム、および簡単なメンテナンス・システム。

日本は、太陽光よりも大きなインセンティブを小型風力に提供する、数少ない市場の1つです。太陽光については成長を維持しながらインセンティブを縮小することが可能となった為、太陽光の価格は近年大幅に下がりました。日本は今後数年にわたる20kWまでの小型風力タービンの世界最大の市場となる可能性を持っています。

ソリッド・ウィンド・パワー社は、デンマーク、スキャン市に位置し、小型風力タービンを供給するヨーロッパ企業です。同社製品は全てデンマークで製造され、他のヨーロッパ諸国と日本に輸出されます。

さらに詳細な情報については、mail@solidwindpower.com へメール、または最も近い代理店パートナーへご連絡ください。

